

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 一人一人の発達状況や年齢の発達を理解し、3つの視点、5領域をとらえて実践し、職員間で共有する。	(1) ◎	みあいっこ保育を行い、保育指針と照らし合わせることで、年齢の発達を理解することができた。
		(2) 自己評価を実施し、教育・保育の質の向上を図る。保護者アンケート・園評価を実施し次年度に活かす。	(2) ◎	自己評価や保護者アンケートを行い、保育について振り返ることができた。
		(3) 保育カウンセラー、特別支援教育センター等専門機関と連携し、発達の特性や支援方法を全職員で共通理解する。	(3) ◎	保育カウンセラーや各関係機関と連携を図りながら、支援方法を共通理解することができた。
		(4) 安全の心得を活用し、室内外の安全点検や消毒を丁寧に行い、安全で衛生的な環境を整える。	(4) ○	年度当初に読み合わせを行った。定期的に活用していきたい。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研修の参加や、園内研修での学び合いを通して、教育・保育の知識や技術を共有し、質の向上を図る。	(5) ◎	園内研修や研修報告を通して、職員の質の向上につなげることができた。
		(6) 施設長の責務を明らかにし、専門性の向上に努める。	(6) ◎	定期的にチェックリストを活用したり、文献を読み合わせたりし、専門性の向上に努めた。
		(7) 研修開催案内の情報収集や提供を行い、研修意欲を高め、職員が積極的に取り組めるようにする。	(7) ◎	研修案内の提供を随時行うことで、積極的に研修に参加することにつながった。
Ⅱ子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) クラス懇談・個人懇談を実施したり、連絡帳や送迎時に子どもの様子を情報交換したりして子育ての悩みや不安解消に努める。	(8) ◎	クラス懇談や個人懇談を通して、保護者に寄り添う保育ができた。
		(9) 特別な配慮を必要とする家庭や保護者との懇談を行い、情報を共有し、個別に丁寧な支援を行う。	(9) ◎	定期的に懇談を行い、情報交換しながら連携を図った。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時、情報を提供し、育児相談・情報提供など地域の子育て家庭の支援を行う。	(10) ◎	園開放を行うことで育児の相談等、支援を行うことができた。
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報提供を行い、随時活用できるようにする。	(11) ○	保護者が手にしやすい場所にパンフレットを設置した。情報発信を積極的にしていきたい。
		(12) 子育て広場を通して、地域の子育てや家庭の相談に応じ、援助の充実を図る。	(12) ○	1か月に1回子育て広場で園児との交流を行った。相談等に応じられるようにしていきたい。
Ⅲ多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターやこども療育センター、こども保育課との連携を図り、情報を共有していく。	(13) ◎	3歳児健診等を通して連携を行い、情報を共有することができた。
		(14) 民生児童委員、主任児童員、保健衛生推進員との連携を図り、地域の実情を共有する。	(14) ○	3か月に1回の頻度で、地域の主任児童委員の方との情報共有を図った。
		(15) 園小連携会議に参加したり、特別支援コーディネーター等との連携を図ったりして就学につなぐ。	(15) ◎	園小連携会議に参加し、互いに連携を図りながら就学につなげることができた。
		(16) 園だよりや学校だよりを発信し合い、情報交換を行う。	(16) ○	発行物の交換をしながら、互いの取り組みについて、情報交換を行った。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 子どもについての相互理解を図るため、小学校や公民館、児童館で開催される行事に積極的に参加する。	(17) ◎	情報を基に、地域の行事に積極的に参加することができた。
Ⅳ子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育園の行事、園開放などで地域の子どものとの触れ合いの促進を行う。	(18) ◎	園開放を通して、園児や保護者と地域の子との交流を図ることができた。
		(19) 地域連携会議等で保育園の活動等について伝える機会を持つ。	(19) ◎	地域の会議や行事に参加することができた。園の活動について発信する場になった。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 職場体験や実習生等の受け入れをし、子育てへの関心を高める。	(20) △	受け入れ態勢は整っていたが、今年度は実習生の依頼はなかった。
		(21) 区民体育大会、ふれあいフェスタ等地域行事への参加を行い、地域の人との交流を図る。	(21) ◎	太鼓の発表や作品展示、地域行事に参加することを通して、地域の方と交流する機会がもてた。
Ⅴ安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修に参加し、社会の動向や園の在り方について知り、学び合う。	(22) ◎	積極的に研修に参加することができ、報告を通して、学び合うこともできた。
		(23) 保育研究大会等に参加し、これからの乳幼児の教育・保育制度について学び、職員間で共有する。	(23) ◎	研究の成果を動画で配信することで、全職員が学び、共通理解することにもつながられた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムを全職員で共通理解し、作成・実施し、評価を次年度につなげていく。	(24) ○	研修を通して共通理解することはできた。課題等を共有して、次年度の作成へつなげていきたい。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。